



11月園だより



秋の自然をとおしての気付きと学び

園長 立石 晃子

街中の木々が色づきはじめ、葉っぱを持ち登園する子供たちが増えてきました。それぞれに、綺麗な色や模様であったり、大きさや形であったり、虫食いの穴であったり...一人ひとりが琴線に触れた葉っぱを拾い、手に持ち、園門で待っている私に見せてくれます。担任も子供たちの拾ってきた葉っぱや実を学級内に展示したり、製作に使ったりして、子供たちの発見を受け止めています。そして一人ひとりの発見は学級全体や他学年にも広がり、同じところや違うところの発見につながり、「もっと見つけたい」「もっと知りたい」気持ちを膨らませています。

10月15日(木)、年長児と年中児と一緒に汐入公園の遠足に出掛けました。汐入公園にもたくさんの落ち葉、実が落ちていて、すぐに子供たちは集め出しました。初めは自分の気に入った色、形、特徴で拾っていた子供たちでしたが、次第に周りの友達の採取したものにも目が向くようになり、同じようなものを見付けようとしたり、もっと違うものを発見しようとしたり、さらに違いを見出したりするようになりました。特に年長児が葉っぱの表と裏で色が違うこと(裏面は少し薄い色であること)に気付くと、年中児は「これはどうかな」と葉っぱの裏面にも注目するようになりました。また、どんぐりには濃い茶色もあれば薄い茶色もある、緑のものもあれば茶色のものもあることにも気付き、特徴を捉えて拾うようになっていきました。雨天のため短い時間の遠足でしたが、子供たちは自然や異年齢の交流をとおして、気付きや学びを深める姿が見られました。次の日、玄関に「しおいいりこうえんでみつけたあき」として拾ったものを展示したところ、「(葉っぱの)裏は薄い(色な)んだよね。」と再度振り返る様子も見られ、学んだことが定着している姿も見られています。

平成30年3月施行幼稚園教育要領で示された、資質・能力が育まれている幼児の幼稚園修了時の具体的な姿であり、教師が指導を行う際に考慮するものと示されている「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の中に、「自然との関わり・生命尊重」があります。「自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ取り、好奇心や探究心をもって考え言葉などで表現しながら、身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。また、身近な動植物に心を動かされる中で、生命の不思議さや尊さに気付き、身近な動植物への接し方を考え、命あるものとしていたわり、大切にすることをもちかえりをもって関わる」ということが示されています。この遠足で子供たちは、この姿に近づいたように思います。

加えて、秋の自然をとおしてのやりとりは、職員室の勝手口でも行われています。毎朝、南千住第二幼稚園を修了した小学生が、登校し昇降口が開くまでのひと時、職員室の勝手口にやってきては、通学途中で拾った葉っぱをもってきてくれています。毎日有難くいただき、押し葉にするなどして幼稚園での活動に使っています。幼稚園を修了してもまだまだ続く関係です。

楽しいこといっぱい！子供たちの園生活

< 3 歳もも組 >

落ち葉やどんぐり、一つ一つが違うね！

登降園時に、秋の自然物を拾って持ってくるもも組の子供たち。落ち葉を拾って来て、「先生、見て、きれいな赤だよ。」と言ったり、「この葉っぱ、僕の手より大きいよ。」と言ったりして色や形の違いに気付いています。秋の自然物コーナーでは、どんぐり型に切り取った画用紙に、どんぐりの模様や顔を描いたり、子供たちが拾ってきた落ち葉をセロテープで飾ったりして遊びを楽しんでいます。また、色の付いたラップでどんぐりを包んだキャンディーを作って、緊張しながら、年中、長組に「どんぐりキャンディーいかがですか？」と売りに行き、他学年との関わりを楽しんでいます。子供たちの発見や気付きを一緒に楽しみながら、遊びを楽しんでいます。

11月も戸外へ出て、鬼遊びをしたり、皆で体を動かしたりして、友達と一緒に遊ぶ楽しさや、体を動かす心地よさが感じられるように援助していきます。

< 4 歳たんぼぼ組 >

鬼ごっこや椅子取りゲーム、みんなで遊ぶと楽しいね！

たんぼぼ組だけの「スペシャルな運動会」を経験した子供たち。運動会に向かう日々の楽しさや、当日のやり切った満足感や達成感の中で、友達とのつながりや学級の一体感を味わうことができ、大きな自信につながってきています。今、たんぼぼ組では学級のみんで過ごす時間を設け、たんぼぼ組みんなでルールのある遊びやゲームを楽しんでいます。みんなで遊ぶことの楽しさや嬉しさ、ルールを守るから楽しく遊べることを経験していきます。

11月も体をのびのびと動かして、オオカミと子ブタの鬼ごっこを楽しんでいます。オオカミに捕まらないように走り回ったり、捕まった仲間を勇気を出して助けに行ったり、捕まってしまっても友達に助けてもらう経験を繰り返し、友達を助けることができた嬉しさや友達に助けてもらった嬉しさを味わい、友達とのつながりを深めていきます。

< 5 歳ばら組 >

友達と力を合わせて頑張るって、すごいことだね！何でもできるよ！

友達と力を合わせて取り組んだ運動会。競技だけでなく、係の仕事にも張り切って取り組み、さすが年長組！という姿をたくさん見せてくれた子供たち。最後に園長先生からトロフィーをもらった時の笑顔がとても素敵でした。みんなで頑張る楽しさを感じた子供たちは、運動会後にはこれまで以上に友達と誘い合って、鬼遊びをしたり、力を合わせて場を作って遊びを始めたりしています。初めは一人で取り組んでいた遊びも、「この遊びをするなら、〇〇ちゃんが得意だから手伝ってもらおう！」「みんなでやった方が楽しいよね。」と友達のよさやみんなで遊ぶ楽しさをたくさん感じている子供たちです。友達と一緒に楽しさ倍増、何でもできる！という気持ちをさらに育み、これからやってくる様々な取り組みで発揮できるように、援助していきます。

今月は、劇遊びの会に向けて友達とストーリーや登場人物、劇に必要な道具について話し合いを進めながら、自分なりに表現して動くことを楽しめるようにしていきます。